

# 美川っ子

R3. 5. 21 文責 大達高弘

子どもたちの未来を開く…

## GIGAスクール構想

昨年度（令和2年度）から完全実施となった新しい学習指導要領は、2030年の社会を想定して改訂されました。その想定では、10年後の社会はAIの発達とともに社会は大きく変化し、今ある仕事の半数以上が形を変えたり、無くなったりするとも言われています。そのような社会の変化を見越し、「答えのない未知の事態に立ち向かい、その場その場で意思決定をしながら進んでいく力」が求められています。そのためには、情報活用能力を「基盤となる力」として位置づけ、子どもたち一人一人にしっかりと育てていくことが必要になっていきます。しかし、残念ながら、日本の子どもたちは諸外国と比較すると、コンピューターを使った学習やテスト等の経験が不足しており、情報活用能力に課題があることがわかりました。そこで国の主導により、学校において子ども1人1台のタブレット端末の配備や高速ネットワーク等を整備する「GIGAスクール構想」がスタートしました。当初は数年かけて整備していく予定でしたが、新型コロナウイルスの影響で計画の実施が前倒しとなり、昨年度末までに整備を完了することとなりました。浜田市においても、各学校に1人1台のタブレット端末が配られ、各教室にはタブレット端末を充電するための充電保管庫が設置されました。美川小学校でも充電保管庫の設置、校内の高速ネットワーク回線の整備も済み、各学級には大型提示装置（スマートボード）や書画カメラなどの機器が設置してあります。まもなく浜田市より、児童一人一人にアカウントが割り振られ、子どもたちは自分専用のタブレット端末を手にするようになります。タブレットの家庭への持ち帰り等は、まだ先のことになろうかと思いますが、もし今後、新型コロナウイルス等で再び一斉休業になったり、何かの事情で出席停止等になったりしても、タブレットを活用した授業等も可能になるものと思われます。

「GIGAスクール構想は、令和時代における学校のスタンダードであり、これからの学校教育は劇的に変わる」と、以前、萩生田文部科学大臣は述べられました。学校の授業はこれから大きく変わっていきます。タブレット端末は、ノートや鉛筆と同じような学習で使用する道具であり、あるのが当たり前の時代に入っていきます。そのため、ICT機器が使えるようになることと並行しながら、情報モラル教育もしっかりと行う必要があります。これらのことを十分に踏まえながら、美川小学校では美川っ子がICT機器を上手に活用し、未来にはばたいていく力を身につけることができるよう、職員研修もしっかり進めながら、取り組んでいきたいと考えています。

## 【教室はまちがうところだ】

5月6日（木）、全校朝礼がありました。その際、以下に掲載しています「教室はまちがうところだ」の詩を紹介しました。

私は学校で勉強することは楽しいことだと思います。勉強すれば知らなかったことを知ることができます。できなかったことができるようになります。勉強は楽しくて、幸せなことです。

ところが、「まちがえたらいやだ」「失敗したらどうしよう」「こんなこと言ったら笑われるんじゃないか」、そんな気持ちが勉強の邪魔をします。初めからなんでもわかっている人、何でもできる人なんていません。勉強する時に間違えるのは当たり前なのです。教室にいる一人一人が本気で考えて、自分の考えを思いきって口に出すことが大切です。大事なことは、聞いている仲間が、誰かが間違えても笑ったり、ばかにしたりせず、温かく受け止めることです。そうすれば安心して発言できます。安心して間違えられます。そして、どこが間違っているのか、どうして間違えたのかをみんなで考え、正しい答えを見つけ出していき、これが本当の勉強だと思うのです。そうして得た力は、一人一人の、そしてその学級全体の本物の力になります。間違いは、実は学級の宝なのです。そんな学級、学校を目指していこうと子どもたちに話しました。（とても長い詩なので、途中を省いて紹介しました。）

教室はまちがうところだ まきたしんじ

教室はまちがうところだ

みんながどしどし手を挙げて

まちがった意見を言おうじゃないか

まちがった答えを言おうじゃないか

まちがうことをおそれちゃいけない

まちがうものをわらっちゃいけない

まちがった意見も

まちがった答えも

ああじゃないか こうじゃないかと

みんなで出し合い 言い合うなかでだ

ほんとのものを見つけていくのだ

そうしてみんなで伸びていくのだ

神様でさえまちがう世の中

ましてこれから人間になろうとしている

ぼくらがまちがってなにがおかしい

あたりまえじゃないか

安心して手をあげろ

安心してまちがえや

まちがったって わらったり

ばかにしたり おこったり

そんなもの おりゃあせん

まちがったって

だれかがなおしてくれるし 教えてくれる

こまった時には先生が

ない知恵しぼって 教えるぞ

そんな教室つくろうや



## 美川っ子のめあてが決定しました！

5月11日（火）、今年度初めての児童総会がありました。児童総会というのは、児童会活動の一つで、全校児童が集まって話し合いをしたり、報告をし合ったり、お願いをし合ったりすることを通して、自分たちの手で自分たちの学校をよりよくするためのものです。つまり、子どもたちの自治的な活動です。

その児童総会の中で、今年度の美川っ子のめあての発表がありました。美川っ子のめあては、予め各学年にアンケートを取り、集まった様々な意見を6年生が集約して、全校にわかりやすい文言にするために話し合って決定してくれました。全校の思いを汲み取って、いこう、みんなの思いをつなげていこうと一生懸命に考えてくれたのでした。

### 美川っ子のめあて

何でもチャレンジ 誰にも優しい美川っ子  
 ○苦手なことにもあきらめずにがんばる  
 ○自分がされていやなことはしない

このめあては、体育館前面の壁に貼り付けて、全校のみんなが意識して生活していけるようにしてあります。美川っ子のめあてが全学年に浸透し、達成に近づいていけば、美川小学校の合言葉【㊦ながら ㊦がやく ㊦たしたちの学校】も実現していくと思います。素晴らしいめあてを作り上げてくれた6年生はもちろん、自分たちの思いをしっかりと出してくれた1～5年生、すべてのみなさんに拍手を送ります。

## 田植えをしました！！（5年生）

5月14日（金）、好天に恵まれ、5年生が四中の田植えの活動に参加してもらいました。頼もしい中学生、かわいい幼稚園生、そしてたくさんの地域ボランティアのみなさんと一緒に汗を流しました。四中校区では地域の皆様の熱い思いに支えられながら、たくさんの教育活動を進めることができます。本当にありがたく、感謝申しあげます。毎年、当たり前のように行われているこの田植えの活動も、決して当たり前のことではなく、地域の皆様の、地域のおよさを伝承したいという熱い思い、子どもたちのためにという温かい心によってこうして続けてこられたのだと思うのです。まさに、美川のみんながかがやく素晴らしい活動だと、改めて感じました。



### 〈5年生の感想〉

みんなと楽しく田植えができてうれしかったです。準備や片付けなど中学生や地域の方にやってもらって申し訳なかったけど、ほんとに楽しくできてよかったです。

## 連合修学旅行に行きました！！（6年生）



【出雲大社に参拝】



【勾玉づくりに挑戦】



【国宝 松江城にて】



【水木しげる記念館にて】

5月13日（木）・14日（金）、雲雀丘小学校との連合修学旅行に出かけました。新型コロナウイルス感染防止対策として、旅行中はずっとマスクを着用し、見学地ごとに検温・手指消毒を行いました。楽しいはずのバスの中での会話もなるべく小さな声でし、ホテルでの食事は全員が同じ方向を向いて距離をとっていただきました。本当に制約の多い旅行で、子どもたちにはかわいそうな思いをさせてしまいましたが、美川小・雲雀丘小両校の児童とも、修学旅行の目的である「島根の歴史について学び、見識を深める」「公共のルールやマナーを守る」「交流を深め、楽しい思い出を作る」を意識し、自分たちの手で素敵な修学旅行をつくり上げました。学ぶべきところは学び、楽しむところはしっかり楽しむというメリハリをつけ、とても連合とは思えない仲の良さでした。旅行までに3回の交流活動の場を設けたことも効果があったのかもしれませんが。修学旅行はただ楽しむだけでなく、旅行の事前学習・準備から事後のまとめ・振り返りまでを通して何を学ぶか、どんな力を身につけるのかがとても大切だと思います。まさにそれができた修学旅行でした。

## 6月の主な行事

- 3日（木）全校朝礼、授業公開日、SC訪問日、外国語（ALT）
- 4日（金）クラブ⑥
- 11日（金）スポーツテスト②③、委員会⑥
- 12日（金）クラブ⑥
- 14日（月）PTA街頭指導開始
- 15日（火）全校テスト（国）
- 17日（木）外国語（ALT）、内科検診（1・2・3年）
- 18日（金）こども美術館創作活動（3・4年）、クラブ⑥
- 22日（火）ラブック号
- 23日（水）第1回学校評議員会
- 24日（木）外国語（支援員）、校外学習（4年）
- 25日（金）委員会⑥、メディアコントロールウィーク（～7/1）
- 29日（月）校外学習（4年）
- 30日（火）全校テスト（算）、SC訪問日、血液検査（4年）

